

新たなマテリアリティ(重要課題)特定

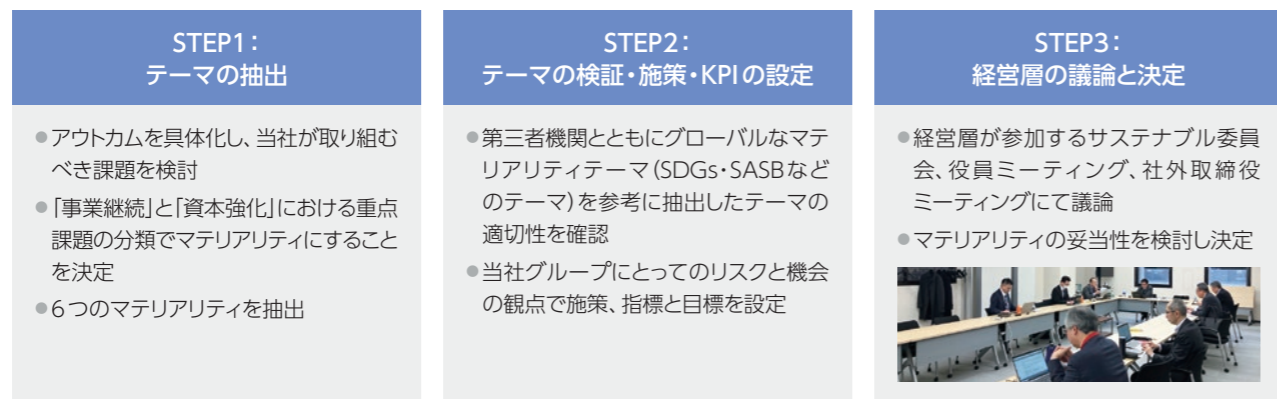
■ マテリアリティの見直し、再特定の背景

ノーリツグループでは、多様化するステークホルダーからの要請や期待をふまえ、2015年に当社グループの企業活動が社会に与え得る影響を認識・整理し特定したマテリアリティを経営課題に加えしました。

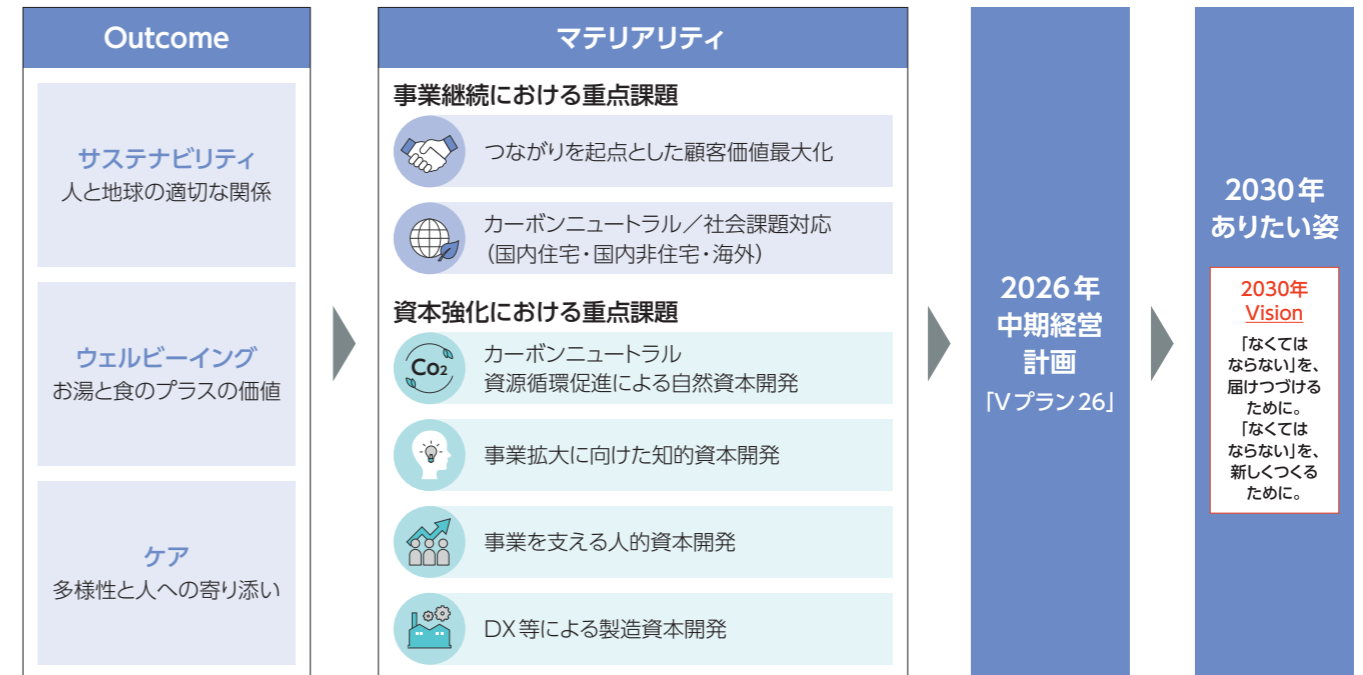
2020年には、2030年に向けた「社会・環境長期ビジョン2030」策定と2023年に向けたマテリアリティの見直しを実施し、2022年には政府のCO₂削減目標引上げを受け目標を再設定しました。

今回、外部環境変化が当社グループに与える影響と内部環境を整理し、財務インパクトにつながる6つのマテリアリティを特定しました。

■ マテリアリティ再特定プロセス



■ 豊かな暮らしと地球への貢献を両立できる社会へ向けた取り組み



■ マテリアリティ(重要課題)の取り組みと指標

重点課題	機会	主な取り組み	Vプラン26 指標とマイルストーン		2023年末	2030年ありたい姿		
			指標	2026年目標				
事業継続における重点課題	<ul style="list-style-type: none"> サービス対応で安心・安全による顧客基盤を固め、保守・メンテナンス主体の新たなビジネスモデル・収益基盤を創出 製品・サービス提供を通じた新たな社会価値(カーボンニュートラル・お湯の価値・食の価値)の創出 	<ul style="list-style-type: none"> お客さまとの「つながり」強化 温水・環境配慮型商品(高効率給湯器)と厨房・社会課題解決型商品のスタンダード化 設備更新による施設のカーボンニュートラル貢献 熱ソリューションビジネスの確立 既存国:環境対応型商品の市場拡大 新規国:所有技術・商材の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 製品・サービスを通じたつながり数(累計) 	600万件	457万件	<ul style="list-style-type: none"> つながり数900万件 		
			②カーボンニュートラル/社会課題対応	②-1 国内	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型商品の販売構成比 社会課題対応型商品の販売構成比 製品のCO₂排出量(2018年比) 	50%	40%	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型商品90% 社会課題対応型商品40% 製品CO₂2018年比▲30%
				②-2 国内(非住宅)	<ul style="list-style-type: none"> 事業拡大によるCO₂削減貢献量 	37%	31%	
				②-3 海外	<ul style="list-style-type: none"> 事業拡大によるCO₂削減貢献量 	▲20%	▲25%	<ul style="list-style-type: none"> 40万t-CO₂
資本強化における重点課題	<ul style="list-style-type: none"> 自社・社会の環境負荷を減らすことで、持続可能なビジネスモデルを確立 技術力による競争優位性の確保 競合他社の差別化 多様な人材の能力発揮を促し、組織全体としての力を最大化 個々の強みを活かしたイノベーションの促進 DXによる製造効率の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動によるCO₂排出量の削減 リサイクルビジネスの促進 社会課題解決型技術の創造と世界展開 経営品質向上によるコーポレートブランド強化 従業員ウェルビーイングの実現 ダイバーシティ&インクルージョン ものづくり変革(DX活用・ロボット導入・モジュール設計等) 	<ul style="list-style-type: none"> RE100達成 製品リサイクル回収台数 	明石本社工場達成	—	<ul style="list-style-type: none"> 事業CO₂2018年比▲50% 製品リサイクル回収30万台 		
			<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル・ウェルネス等の新技術獲得数 	5件	—	<ul style="list-style-type: none"> パテントor新ビジネスモデル5件 		
			<ul style="list-style-type: none"> ブランド戦略サーベイ総合スコア 	585	572	<ul style="list-style-type: none"> ブランド戦略サーベイ総合スコア600 		
			<ul style="list-style-type: none"> エンゲージメントサーベイ総合スコア 	70	68	<ul style="list-style-type: none"> エンゲージメントサーベイ総合スコア73 		
⑥ DX等による製造資本開発		<ul style="list-style-type: none"> 本社工場の自動化率 	ガス給湯器ライン 自動化率70%	—	スマートファクトリーの実現			